

## 奈良女子大学「共助の精神に基づく女性研究者支援」

本学の基本理念の第一は「男女共同参画社会をリードする人材の育成—女性の能力発現をはかり情報発信する大学へ—」であり、この理念や国の定める基本計画等に基づき、教育・研究・運営等のあらゆる場面で、男女共同参画に関する様々な取組みを実施してきました。

特に、平成 18 年度に採択された「女性研究者支援モデル育成」においては、採択期間の 3 年の間に女性研究者が研究と出産・育児等を両立し研究活動を継続できるための支援環境を整備しました。この事業は、採択期間終了後も大学の重要な事業と位置付け、女性研究者共助支援事業本部が中心となって継続しており、この取組みの成果は、意思決定過程への女性の登用促進、女性教員の採用促進に関するアクションプランの制定等のシステム改革、意識改革につながっています。

また、「女性研究者支援モデル育成」による支援環境整備を基盤として、平成 22 年度には「女性研究者養成システム改革加速」に、平成 23 年度には「ポストドクター・キャリア開発事業」に採択され、理工系分野の女性教員数の増加や、博士後期課程学生・ポストドクターを対象に、実社会の多様なニーズを踏まえたキャリアパスの確保を支援する事業を推進しています。

本学は、これらの事業をさらに推進するため、平成 24 年 12 月に「男女共同参画推進室」の名称を「男女共同参画推進機構」とあらため、4 本部（男女共同参画推進本部、女性研究者共助支援事業本部、女性研究者養成システム改革推進本部、キャリア開発支援本部）を置き、各学部の男女共同参画推進委員会とも連携しながら、機能的・機動的に取り組んでいます。

本学の活動の基本は、支援する側とされる側の人のつながりの中で、双方がそれぞれの立場から寄与して成長していく「共助の精神」です。今後もこの精神に基づいて、男女共同参画推進のために何ができるかを問い続けていきます。

### 【現在の女性研究者支援の取組み】

#### ◆女性研究者共助支援事業本部の活動

子育て支援システム：本学が養成したサポーターを派遣し、本学関係者の子どもの送迎・預かりを支援。依頼を仲介する Web システム「ならっこネット」を開発・運用し、サポーター養成のための養成講座を毎年開講。教育研究支援員制度：出産・育児・介護などに関わる女性研究者の教育研究活動の支援に、主に博士後期課程修了者を配置。母性支援相談室：育児・介護・思春期から更年期までの女性の健康相談。学内子育て支援環境整備：一時託児室「ならっこルーム」開設、フイッテイングルーム（授乳・搾乳室として利用可）設置、手洗いにベビーシート・幼児用便座などを設置。

#### ◆女性研究者養成システム改革推進本部の活動

若手女性研究者養成システム・若手研究者サポートシステムにより、若手女性研究者の採用、メンター制度の実施による養成を支援。

研究スキルアップシステムにより、理工農系の在籍女性研究者の国内・国際学会参加や英語論文校閲等の研究スキルアップを支援。

#### ◆男女共同参画推進本部の活動

意識啓発の推進：男女共同参画推進のための講演会の開催等

#### ◆キャリア開発支援本部の活動

キャリアパス形成時期が出産・育児期と重なる女性ポストドクターの《キャリアの壁》を打開して、女性の高度な職業能力を開発し、自分らしい生き方、働き方を見つけられるよう全学を挙げて支援。転用可能なスキルの活用方法、多様な生き方・働き方への視野の拡大への取組：実践的講義、興味ある職業人へのキャリアインタビュー、企業人との交流会、女性のための起業セミナー、長期インターンシップ。さらに全学の教員・元教員・卒業生らの社会的資源を活用する メンターシステムの構築、育児支援金制度・育児奨学金制度の創設 など心理・情報、経済面でのサポート

#### ◆その他の主な女性研究者支援

新規採用時における部局・個人に対する支援：女性研究者養成加速支援経費、スタートアップ研究費支援経費。

大学院生・大学院修了者に対する支援：若手女性研究者支援経費

### 【女性教員比率の向上】

本学は、平成 22 年度～27 年度の中期計画において機関全体の女性教員比率を 30%以上にする目標を掲げ、上記の様々な取組みにより女性教員比率の増加を図っており、理工農系分野においては、平成 21 年度末の 21.9%から、平成 25 年度末には 32.4%に、大学全体では、平成 21 年度末の 25.4%から、平成 25 年度末には 34.3%に増加しています。

### 【連絡先】 奈良女子大学男女共同参画推進機構

事務担当 総務・企画課総務係 TEL:0742-20-3204 FAX:0742-20-3205

URL：<http://gepo.nara-wu.ac.jp/>

E-mail：（共助支援）[shien@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:shien@cc.nara-wu.ac.jp)（養成システム）[j-kaikaku@jimu.nara-wu.ac.jp](mailto:j-kaikaku@jimu.nara-wu.ac.jp)  
（キャリア開発）[career-k@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:career-k@cc.nara-wu.ac.jp)



# 『生涯にわたる女性研究者共助システムの構築』

# 『伝統と改革が創る次世代女性研究者養成拠点』

## 文部科学省「女性研究者養成システム改革加速」事業

### 国立大学法人奈良女子大学 男女共同参画推進機構

平成26年10月作成

## 女性研究者共助支援事業本部の活動

# 『共助の精神』に基づき、女性研究者のワーク・ライフ・バランスを支援するネットワークを作る

### 子育て支援システム

子育て支援システムの登録サポーター（地域の方・学生など）が『ならっこネット』『イベント託児システム』で活躍、本学関係者の子育てを応援しています。

### ならっこネット



小学生以下の子を持つ本学関係者を対象とした、夜間・週末などの二次保育支援を中心としたサポーター派遣制度（20年4月より運用）。奈良女子大学が開発したWebシステム『ならっこネット』が依頼を仲介し、支援状況を管理します。

現在、44名の利用者（子どもは63名）を55名のサポーターが支えています。周知が進み、最近では大学院生や非常勤講師の登録が増えています。「この制度を知ったから、出産後に学位を取る決心をした」という声も聞かれました。多い年は250件近い支援を実施しています。学生やポストドクターの利用者に対する育児奨学金制度、育児支援金制度を導入しています。

### イベント託児システム

大学内での学会・講演会などのイベント時の託児を担当します。附属幼稚園・小学校でも、保護者会行事の間の託児を担当しています。22年秋より運用。26年度は10月現在で20件実施しました。



### ならっこルーム

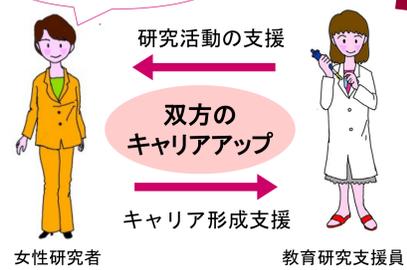
大学内にある預かり支援専用室です。集団託児でも活用中！

### サポーター養成講座

支援を担当するサポーターを本学で養成するための講座です。養成基礎講座修了者は、サポーターとして登録できます。さらに、サポーターの技能・知識向上を目的としたブラッシュアップ講座を毎年度7-8講座開講しています。一般の方も多数参加し、地域貢献にもなっています。



### 出産・育児・介護



### 教育研究支援員制度

出産・育児・介護などに関わる女性研究者の支援に、主に博士後期課程修了者を配置しています。26年度Ⅰ・Ⅱ期合わせて、延べ11名の女性研究者に18名の教育研究支援員が配置されました。

### 母性支援相談室

妊娠・出産・育児に関する相談や、思春期から更年期までのことからの健康相談に、専門家が応じます。25年度は延べ144人が相談に訪れました。

### 学内子育て支援環境整備

フィッティングルームを授乳・搾乳に利用できるよう、諸設備を設置しました。学内の多数の手洗いに、ペビシート・幼児用便座を設置。ならっこルームも含め、これらの設備が快適に利用できるよう、維持管理しています。また、学内の子育て支援設備を示した地図、支援に役立つ情報を配布しています。



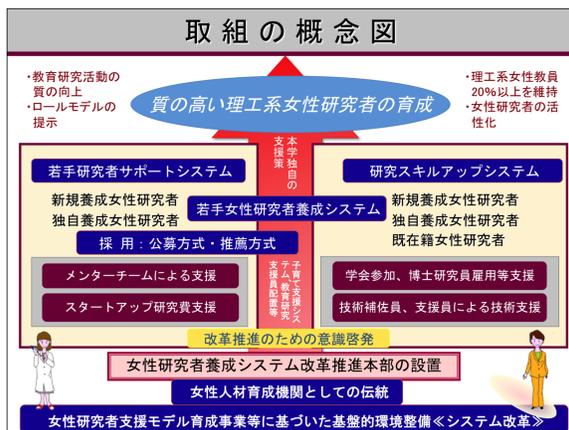
フィッティングルーム

多目的トイレ

## 女性研究者養成システム改革推進本部の活動

# 学長主導のマネジメント体制のもと、質の高い理工系女性研究者の育成を目指す

### 取組概要



18-20年度に「女性研究者支援モデル育成」に採択され、採択期間終了後も同事業を大学の重要な事業と位置付け、女性研究者が研究と出産・育児等を両立し研究活動を継続するための支援環境を整備しています。この取組みの成果は、意思決定過程への女性の登用促進、女性教員の採用促進に関するアクションプランの制定等のシステム改革、意識改革につながり、このような改革を基盤として、22年度には「女性研究者養成システム改革加速」に採択されました。

### 取組内容(1):女性研究者の採用システム

#### <新規養成システム>

#### 優秀な女性研究者を選抜する採用方式

国内外の研究機関で活躍している若手女性研究者対象  
ポストドクター等の研究職を経験した者  
◎女性教員を対象とした公募を既に実施  
[推薦方式]  
国内外の研究機関に優秀な若手女性研究者の推薦を依頼

#### 採用分野と規模

理学系分野および工学系分野で22～25年度に9名の女性教員の採用実績

#### 研究業績に見合う職階・処遇で採用

研究業績に応じ、助教、准教授または教授  
准教授は「任期なし」、助教は「任期なし、又は任期5年(再任3年)」(「任期付き」の場合は、若手研究者サポートシステム等の活用により、将来の安定した職へ)

#### <本学独自の養成システム>

#### 優秀な女性研究者を選抜する採用方法

ポストドクター等の経験の有無によらず、方式を問わず、本学独自に優秀な若手女性研究者を採用

#### <実施期間内の増加数>

平成25年度末に理工農系分野で32.4%、機関全体で34.3%に女性教員比率が増加

#### 女性研究者の応募を増やすための方策

- ◆新規採用女性研究者に対する経費の支援  
採用初年度にスタートアップ研究費(150万円)  
2年目、3年目に研究経費(100万円/年)
- ◆公募要領に  
「若手研究者養成支援経費」(個人への支援)  
「女性研究者養成加速支援経費」(部局への支援)  
などの研究支援制度があることを明記
- ◆出産、育児による休職期間があれば、応募書類に明記させる
- ◆ホームページに、実施している共助支援の内容を掲載

#### 女性教員比率についての合意形成

- ◆ポジティブアクション、第2期中期計画に記載
- ◆採用計画は理学部教授会で了承済み

### 取組内容(2):女性研究者サポートシステム

#### 1)新規養成女性研究者(独自養成女性研究者を含む)対象

複数メンター教員(3名以上)による養成システム  
新規養成・独自養成女性研究者の助教対象  
採用年度を含めて3年間、研究活動の指導助言(メンター教員に支援経費支給)

#### 2)既在籍女性研究者(新規養成・独自養成女性研究者を含む)対象

- ◆教育研究支援員制度(拡充)  
対象者と支援時間の拡大
- ◆研究スキルアップシステム  
女性教員のニーズを踏まえた以下の支援を実施  
学会や研究会の開催経費・参加経費等を援助  
学術雑誌への投稿論文の英文校閲経費を援助  
ポスト・ドクターの配置(双方支援)  
高度な実験技術を持った技術員を配置



#### 3)大学院生・博士研究員対象

- ◆モニタリングシステム
- ◆若手女性研究者支援経費制度
- ◆博士研究員制度
- ◆奈良女子大学国際学術交流奨励事業
- ◆教育研究支援員制度(拡充)
- ◆学会や研究科の開催経費・参加経費等を援助
- ◆研究スキルアップシステム  
ポスト・ドクターの配置(双方支援)

